

第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	横浜市神大寺保育園
経営主体(法人等)	横浜市
対象サービス	児童分野 保育所
事業所住所等	〒221-0801 横浜市神奈川区神大寺2-1-7
設立年月日	1973年4月1日
評価実施期間	平成29年6月～29年12月
公表年月	平成30年4月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市版
総合評価（事業所の特色や努力、工夫していること、事業者が課題と考えていること等）	
<p>【施設の立地・特徴】</p> <p>・立地および施設の概要 横浜市神大寺保育園は、地下鉄ブルーライン三ツ沢下町駅または片倉駅から徒歩15分の、公園が点在する住宅地に1973年開園しました。定員65名のところ、現在1～5歳児67名が在籍しています。園舎は平屋建てで、耐震補強のため6年前にリニューアルしました。プールや砂場、鉄棒のある111㎡の園庭には、さくらんぼや柿など実のなる木、藤棚、畑、花壇などがあり、子どもたちは保育室からすぐに園庭に出て、朝夕遊んでいます。</p> <p>・園の特徴 リズム運動や園庭・散歩などの戸外活動での身体作り、花や野菜を苗植えや種まきから育てる栽培活動、異年齢や地域の子どもたち、障がい児などさまざまな子どもとの交流による心を育む保育を大切にしています。</p> <p>【特に優れていると思われる点】</p> <p>1. 室内環境づくり 園内研修の一環として、各クラスの保育室の環境を他クラスの職員のみで点検し、危ない箇所や遊びやすい環境について率直に意見を出し合い、よりよい環境づくりに取り組んでいます。 保育室にはままごとや絵本コーナーのほか、一人で落ち着けるコーナーもあります。子どもの育ちに合わせた指先や頭を使うおもちゃ、布製の指人形、スカート、布団など複数の手作りおもちゃもあります。子どもは一人で好きな遊びを楽しんだり、友だちとごっこ遊びや難しい組み立てにチャレンジしたりしています。 手作りの長いす、おもちゃ、絵本を置いてくつろげるフリースペース「なかよしひろば」を今年度から廊下に設置し、異年齢児間の交流ができるようになっています。</p> <p>2. 子どもや大人との様々な幅広い交流 様々な子どもや大人と幅広く交流する保育の実施により、子どもたちは多様な関わりによる豊かな経験を得ています。</p> <p>① 一時保育、園庭開放、交流保育（リズム運動やどろんこ遊び、ランチ）で地域の子どもたちと一緒に活動しています。</p> <p>② 育児講座や音楽コンサートで地域の子どもや大人と、高齢者介護施設への訪問で高齢者と触れ合っ</p>	

ています。

- ③ 週 1 回、異年齢の幼児が 3 人 1 組のグループになって活動し、ほかの子どもへの思いやりを育み自信につながっています。廊下の「なかよしひろば」では、異年齢児が普段から自由に遊んでいます。
- ④ 配慮を要する子どもに対して、一緒に生活してきた仲間の一人として自然に手助けをしたり見守ったりして受け入れていま様々な子どもや大人と交流することで、子どもたちの豊かな感情を育てています。

3. 職員の意欲を引き出すプロジェクトや提案制度

職員の担当を決めてプロジェクト（保育課程の見直し・避難訓練・園だより・異年齢保育・マニュアルの見直しなど）を立ち上げ、担当者が責任をもって検討したものをベースにして職員会議やミーティングで話し合い、業務の改善につなげています。

園長は常勤職員だけでなく非常勤職員とも年3回以上面談し、さらに福祉員会議、アルバイト会議などで思いや意見をくみ上げています。会議やミーティングで職員の意見や提案を聞くほか、非常勤職員からも無記名の封筒で園長に意見を提出できるようになっています。倉庫や資料の整理・分類の仕方やワゴンのカバーのほか、乳児室の職員のスリッパ置き場を作るなどの提案があり、実行に移しています。

【特に改善や工夫などを期待したい点】

1. 人権を尊重した言葉遣いや態度を職員間で検証する仕組み

必要以上に声が大きくなる職員や、否定的な言葉を使ってしまう職員が、中には見受けられます。園内研修をして人権標語「おなじ目線で接していますか?」「大人も子どもも嫌な言葉は一緒です」「必ずつけようくん・ちゃん・さん」「無意識な態度にこそ落とし穴」を作り、事務室に掲示しています。園長・主任が注意する前に、職員同士で気を付けて注意し合うことが望まれます。

2. 乳児の発達の記録と個別指導計画の工夫

横浜市の手書式として、1、2歳児の個別指導計画には、職員の評価・反省欄がありません。翌月に子どもの様子が記載されますが、職員の振り返りの記載ではありません。また、子どもの発達記録は1～5歳児全員が6か月ごとになっています。1、2歳児の発達は幼児に比べて変化が激しく、6か月ごとでは発達の経過を追いつけません。子どもの発達段階に合わせた発達の記録と個別指導計画の自己評価ができる工夫が期待されます。

評価領域ごとの特記事項

1.人権の尊重

- ・職員で考えた「人権標語」を標榜し、「同じ目線で接していますか。大人と子ども、嫌な言葉は一緒です。必ずつけよう！くん、ちゃん、さん。無意識な態度こそ落とし穴」をモットーに子どもの人権を意識するよう努めています。
- ・保育士は、「〇〇ちゃん、どうする?」と問いかけたり、子どもが納得して行動するまで見守るなど、子ども一人一人のペースを尊重し、子どもをせかしたりせず、わかりやすい言葉で話すよう努めています。
- ・各保育室には、押し入れ下の遊びコーナー、ままごとコーナー、絵本コーナーなど一人で落ち着いて過ごせるコーナーを複数設定しています。
- ・必要に応じて、育児相談室を利用して気持ちを落ち着かせたりゆっくりと過ごしたりしています。保育室内にもゆっくりと話せる場所を確保しています。
- ・守秘義務の意義や目的は、常勤職員は採用時やコンプライアンス研修で周知を図り、非常勤職員は採用時や必要に応じ研修を行っています。ボランティアや実習生にはオリエンテーションで説明し、誓約書を提出してもらっています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・「個人情報ガイドライン」「個人情報マニュアル」があり、非常勤を含めた全職員に毎年研修を行い周知しています。個人情報に関わる書類はすべて事務室内の施錠できる書庫に保管しています。 ・保護者に個人情報に関する書類を渡す際は、担当者がダブルチェックをして手渡しをしています。 ・園で使用する持ち物や帽子は男女共通で、遊びや行事の役割でも性別による区別はしていません。
<p>2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各保育室にはコーナーがあり、子どもたちは自分でおもちゃを取り出して、自分の好きなところで落ち着いて遊べるような環境づくりをしています。 ・空き箱などで自由に制作を楽しむことからクラス全体のごっこ遊びにつながり、夏まつりでは5歳児が中心にゲームコーナーやお店屋さんごっこを自分たちの発案で力を合わせてするなど、子どもの発想を活かしています。 ・園庭にある畑やプランターでじゃがいも、ポップコーン用とうもろこしなど多くの野菜を各クラスで栽培しています。子どもと一緒に苗植えや種まき、芽かき、水やり、肥料やりなどを行っています。 ・天気がよければ毎日園庭で遊んでいます。散歩は、年齢や目的に応じて公園を選び、身体を動かして遊んだり自然に触れて楽しんだりしています。 ・「食育計画」があり、「お腹のすくリズムの持てる子ども」「食べたいもの、好きなものが増える子ども」など5つの目標を掲げ、保育士は「食べ物にはいのちがある」ことを子どもたちに伝えながら食育に取り組んでいます。 ・調理員は職員会議や毎日のミーティングにも出席し、保育士から直接意見や要望を聞いて、調理方法など速やかに反映しています。 ・トイレトレーニングは一人一人の発達状況を捉えて、保護者と連携を図りながら個々のペースで進めています。 ・行事後や年度末に保護者アンケートを実施し、保育方針が理解され、共感を得ているかを把握しています。 ・保育参加は「保育士一日体験」として、給食の試食もしています。個別面談は一日保育士体験と同時に年1回実施しています。 ・クラス懇談会は、年2回平日の午後2時30分から4時ごろまで行い、保育理念・園目標・保育方針、クラス目標、現在の子どもの様子などを伝えています。 ・保護者会があり、保護者会主催で親子遠足をしたり、お楽しみ会で絵本のプレゼントをしたりしています。園は日常の子どもの様子を撮影し、保護者会に提供するなどの協力をしています。
<p>3.サービスマネジメントシステムの確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2歳児は同じクラス編成で、4月は規程以上の2名の職員を追加して、1歳児には主に担当する職員が決まっています。1、2歳児は個人ごとに個別連絡ノートがあり、保護者に安心してもらえるように園での子どもの様子を知らせています。

・カリキュラム会議では、事前に指導計画案をほかの職員に目を通してもらい、いろいろな角度から検討して、評価・見直しができています。

・1、2歳児は、毎月個人別に「現在の子どもの様子」「内容・配慮・家庭との連携」を記載して、個人の発達状況に応じた指導を行っています。

・幼児でも、配慮を要する子どもは個人日誌を付け、3か月ごとの個別支援計画を作成しています。関わる職員が情報を共有できるようになっています。

・入園後は、「経過記録」に前期・後期の発達を記録しています。乳児は個別連絡ノートに毎日子どもの様子を記入してもらい、園での状態も記入しています。幼児は、「げんきカード」に毎日の体温、健康状態を保護者が書いてウォールポケットに毎朝入れてもらうことにしています。

・苦情受付担当者及び苦情受付責任者は園長で、第三者委員を交えて解決する仕組みを、わかりやすく「保育園のしおり（重要事項説明書）」に記載しています。

・意見箱は保護者用出入り口に設置し、懇談会で意見を聞き、行事後や年度末にはアンケートをして、保護者の要望や苦情を聞いています。

・子どもの既往症や予防接種歴、アレルギー、健康状態などを把握し、健康上特に注意が必要な子どもを一覧表にまとめて、配慮事項を全職員で共有しています。

・業務マニュアルは、年度末にマニュアルごとにプロジェクトを組んで各マニュアルの見直しを行い、職員会議で検討しています。

・「避難訓練年間計画」を基に、想定場所や時間を変えて、毎月避難訓練を実施し、年2回は消防署員による指導を受けています。不審者侵入訓練は、園内、散歩先を想定して年3回実施しています。

・小さなケガであってもミーティングで情報共有し、保護者に伝えるよう努めています。担任から直接伝えられない場合は、クラスごとにある引継ぎノートに記録して遅番保育士や福祉員から直接伝えるしくみとなっています。

4.地域との交流・連携

・1日数名の一時保育を受け入れています。リズム運動やどろんこ遊びで交流保育をしています。園庭開放やプール開放、絵本の貸し出しをしています。

・育児講座を年3、4回開催しています。環境教室や運動遊び、音楽会などを開催して、地域の人も参加しています。

・散歩では、子どもや職員は近隣住民に積極的にあいさつをしています。運動会、発表会、音楽会、卒園式に、近隣住民に手紙を渡して招待しています。

・公園ではほかの保育園の子どもとドッジボールをし、小学校の見学や交流会をしています。高齢者介護施設を訪問し、伝承遊びや歌を歌うなどの交流をしています。

・横浜市のホームページや園のパンフレットで、サービス内容、料金、職員体制などの情報を提供しています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア・実習生の受け入れマニュアルがあり、園の方針や配慮などを説明しています。おはなし会のボランティアが月1回来園して、絵本の読み方などの助言ももらっています。実習生には実習反省会を行い、振り返りと助言をしています。
<p>5.運営上の透明性の確保と継続性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が守るべき法・規範・倫理などについては、「横浜市職員行動基準」などに定められ、職員証と共に常に携帯しています。 ・保育課程の中に環境教育に取り組むことを明示し、子どもと一緒にゴーヤやひょうたんを育てるなど緑化に努め、5歳児がエコ当番（クリーン隊）で各クラスのごみを分別収集しています。資源循環局による「環境教室」を実施し、食品ロスのごみ分別について子どもに話してもらっています。 ・職員と調理員が連携を図り、生ごみ処理機を使用し肥料として再利用するなどエコ活動に取り組んでいます。 ・重要な意思決定においては、園長は保護者会と意見交換を行い、保護者会総会で目的や理由を十分に説明し了承を得ています。 ・主任は、職員の経験に合わせて役割分担を行い、個々の職員の状態により勤務を配慮し、必要に応じ的確に助言指導や相談にのっています。園長と共に、園運営が円滑にできるよう取り組んでいます。 ・園長が入手した重要な情報は、必要に応じてミーティングや職員会議などで報告し、重要な改善課題については園全体の課題として設定しています。園長と主任とで原因や状況を確認し、緊急職員会議で改善点について話し合っています。
<p>6.職員の資質向上の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人数に応じた職員を配置しています。新入園時の多い4月は、1、2歳児に2名余分に配置しています。 ・園の課題を職員間で話し合い、園内研修プロジェクトを立ち上げています。今年度6月までは保育の質について研修しました。以後、第三者評価の自己評価を使って3か月かけて研修しました。 ・研修を受けた職員は研修報告書を提出し、ミーティングで研修内容の報告をし、職員間で共有して保育に活かしています。 ・非常勤職員対象の研修のほか、遊びの研修、要配慮児研修、救急救命研修など常勤職員と一緒に研修で資質向上を図っています。 ・園長は非常勤職員と年3回以上面談し、さらに福祉員会議、アルバイト会議、手紙などで思いや意見をくみ上げています。 ・職員は横浜市作成の「保育士の自己評価」表があり、保育園の自己評価も毎年、年度末に行っています。本園の保育方針と園目標、今年度の課題、取り組み状況、保護者アンケートより、次年度の課題・改善点としてまとめています。今年の課題は、(1) 各クラスの保育内容を保護者に提示して、コミュニケーションを積極的にする (2) 生活環境の整備 (3) 職員の人権意識の向上 となっています ・4か月に1度、園内研修として他クラスの環境を全員で見直し検討しています。 ・職員の階層に応じた役割は横浜市の「人材育成ビジョン」に明文化されています。




評価機関による評価




平成 29 年 11 月 27 日

事業所名 神大寺保育園

 3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある



評価領域 I 利用者（子ども本人）の尊重



評価分類	評価の理由（コメント）
I - 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育理念に「未来をになう子どもたちのすこやかな成長をねがって」、保育方針に「愛情を受けてともにのびのび育ちあう」を掲げ、子どもを尊重したものになっています。 ・ 職員間で保育目標について話し合い、「こころもからだも元気な子」「自分も友だちも大切に<u>できる子</u>」「自分で考え、生き生きと活動<u>できる子</u>」というのを、「<u>できる子</u>」よりは主体的に活動する面を強調して「<u>する子</u>」に変更しました。 ・ 保育課程は、基本方針や環境、保護者支援、地域支援の欄を設けて、家庭や地域の状況を踏まえて作成しています。 ・ 昨年 12 月に発足した職員プロジェクトの一つに保育課程見直しのプロジェクトがあり、その中で見直した部分を職員会議に諮り、変更しています。保護者にも年度初めのクラス懇談会で説明し、各保育室に掲示しています。 ・ 保育課程に基づいて、年齢ごとにクラス担任が中心となり年間指導計画、月間指導計画を作成しています。散歩や製作なども子どもの意見を尊重し、変更することもあり、計画には柔軟性を持たせています。 ・ 言葉で理解できる子どもには、活動内容を子どもが理解できる言葉で説明し、どこに行きたいか、何をしたいかを聞くようにし、異年齢保育のグループでは特に子ども同士で話し合っ活動を決めています。言葉で理解できない子どもからは、絵や写真を使って説明し、子どもの思いをくみ取るようにしています。
I - 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 月の入園説明会で、担任予定の職員または主任が保護者と面談しています。保護者と面接した記録は、受付表と詳細なメモを基にその日のミーティングで職員に周知しています。 ・ 短縮保育の必要性は、面接のときに保護者に説明しています。1、2 歳児は 3 日間、3 歳児は 2 日間、4、5 歳児は 1 日かけて通常の保育にしています。保護者の都合で無理な場合は、保護者に合わせています。 ・ 1、2 歳児は同じクラス編成で、4 月はフリー保育士を配置して、1 歳児には主に担当する職員を決めて対応しています。1、2 歳児は個人ごとに個別連絡ノートがあり、保護者に安心してもらえるように園での子どもの様子を知らせています。 ・ 担任が子どもの状況をよく観察し、ねらいに対してどうだったかを職員が振り返りをして、それを踏まえて次の指導計画の作成をしています。 ・ カリキュラム会議では、事前に指導計画案をほかの職員に目を通してもらい、必ず意見・感想を述べることになっています。この活動は時期が違う、ほかのクラスと連携した方がいいなど、いろいろな角度から検討して、評価・見直しができています。
I - 3 快適な施設環境の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掃除の当番・時間が決まっており、清掃マニュアル通りに清掃し、安全管理点検表に毎日記録して、清潔に保たれています。エアコン、空気清浄機なども毎週土曜日に清掃してチェックしています。 ・ 冬の乾燥を防ぐため、加湿器、霧吹き、濡れタオル、洗面器に水を張るなどの工夫をしています。 ・ BGM を午睡明けなどに流すこともありますが、音量は下げています。必要以



	<p>上に声が大きくなる職員も中にはいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1、2歳児保育室は棚で仕切って食べる・寝る空間を分けています。幼児クラスでは、食事をした後きれいに清掃して、布団を敷いています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員同士で気を付けて、声が大きくなる場合は注意し合うことが望まれます。 <p><工夫している事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手作りの長いす、おもちゃ、絵本を置いてくつろげるフリースペースを今年度から廊下に設置し、異年齢児間の交流ができるようになっていきます。
<p>I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2歳児は、毎月個人別に「現在の子ども様子」「内容・配慮・家庭との連携」を記載して、個人の発達状況に応じた指導を行っています。保護者の要望を踏まえて個別指導計画の作成や見直しをしており、トイレトレーニングや食事内容など重要な部分は保護者に説明して同意を得ています。 ・幼児でも、配慮を要する子どもは個人日誌を付け、3か月ごとの個別支援計画を作成しています。関わる職員が情報を共有できるようになっています。 ・保育所児童保育要録は、研修を受けた5歳児担任が作成し、全職員が読んでチェックをしています。 ・入園時に、子どもや家庭の個別の状況を「児童票」「児童健康台帳」に保護者に記入してもらっています。 ・入園後は、「経過記録」に前期・後期の発達を記録しています。乳児は個別連絡ノートに毎体温、食事、排泄、睡眠、子どもの様子を記入してもらい、園での状態も記入しています。幼児は、個別連絡ノートがない代わりに、「げんきカード」に毎日の体温、健康状態を保護者が書いてウォールポケットに毎朝入れてもらうことにしています。 ・進級時には、経過記録や個人面談記録を新担任に見てもらって、引き継ぎをします。
<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児やアレルギー疾患のある子どもなど特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れています。 ・障がい児にはねらい、環境構成、養護、教育、集団への参加、家庭及び専門機関との連携、自己評価欄を設けた個別支援計画を3か月ごとに立てています。 ・発達障害などの研修や横浜市東部地域療育センター及び横浜市南部地域療育センターの訪問指導により、絵カードを使って1日の流れや約束を言葉がけと同時に視覚的に見ることが必要などの内容を、職員間で話し合っって同じ対応ができるようになっています。 ・職員は虐待や人権研修を受け、全職員が虐待の定義を理解しています。登園時の子どもの表情や健康状態、衣服の衛生状態、衣類の着脱時に身体の観察をするなど、日常的に見守りをして早期発見に努めています。 ・かかりつけ医から提出してもらったアレルギー疾患生活管理指導表に従い、園では給食メニューの内容確認のために個人確認票を作成し、間違いのないように対応しています。 ・食物アレルギーのある子どもはトレイや食器の色を変えています。厨房からの配膳時は調理員と保育士、子どもへの配膳時は保育士間で、声出し確認をしています。 ・文化や生活習慣、考え方の違いを尊重しています。食事も少しずつ慣れていけるように進めています。入園説明会や懇談会などは通訳ボランティアに頼んだり、区役所の通訳機を借りたりできます。尿検査など説明が複雑なものには外国語文の説明を付けることができ、各国の簡単な言葉集が利用できる冊子を揃えています。
<p>I-6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情受付担当者及び苦情受付責任者は園長で、保育園のしおり（重要事項説明書）に記載しています。第三者委員を交えて解決する仕組みが、わかりやすく「保育園のしおり（重要事項説明書）」に記載されています。 ・意見箱は保護者用出入口に設置し、懇談会で意見を聞き、行事後や年度末に


	<p>はアンケートをして、保護者の要望や苦情を聞いています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちをあらわしにくい子どもには、職員が気持ちを押し量って代弁したりしています。保護者には、職員からなるべく声をかけるようにしています。 ・園単独で解決できない場合は、神奈川県子ども家庭支援課と連携して解決にあたります。 ・苦情があれば、早急に事実確認してミーティングで原因と改善方法を話し合っています。保護者にも、内容と解決策を掲示や園だよりで知らせています。個人対応が必要な場合は、直接伝えていきます。
--	--

評価領域Ⅱ サービスの実施内容



評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅱ－1 保育内容[遊び] 	<ul style="list-style-type: none"> ・各保育室は、子どもの手の届く棚やかごにおもちゃや教材を入れ、自分で自由に選んで遊べるようになっています。 ・各保育室には、ままごとコーナー、絵本コーナー、押し入れ下の空間を利用した遊びのコーナーなどがあり、子どもたちは自分の好きなところで落ち着いて遊べるような環境づくりをしています。 ・絵本は、全クラスとも、表紙の見える本棚に入れており、幼児クラスでは「図書館で借りてこよう」と廊下にある絵本コーナーから絵本を選び、友だち同士で椅子に座ってくつろぎながら見えています。 ・空き箱などで自由に制作を楽しむことからクラス全体にごっこ遊びにつながり、夏まつりでは5歳児が中心にゲームコーナーやお店屋さんごっこを自分たちの発案で力を合わせてすすめるなど、子どもの発想を活かしています。 ・戸外遊びではルールを守って固定遊具で遊んだり、年齢に応じてルールのある遊びを楽しんでいます。 ・園庭にある畑やプランターでじゃがいも、ポップコーン用とうもろこしなど多くの野菜を各クラスで栽培しています。子どもと一緒に苗植えや種まき、芽かき、水やり、肥料やりなどを行っています。 ・散歩先には自然に恵まれた公園もあり、異年齢のグループで草花や落ち葉に触れて遊んだり、公園内の池でザリガニ釣りをしたりしています。 ・幼児クラスには、空き箱や廃材、テープ、ひもなどを備え、子どもたちが自由に制作を楽しめるようにしています。 ・子どものけんかは、職員は双方の話をよく聞き、年齢に応じて相手の子どもの思いを代弁したり仲立ちしたりし、双方の思いが伝わるよう援助しています。 ・豊かな経験や感情を育てるために、異年齢活動に取り組み、幼児クラスは、3人一組の異年齢交流活動を週1回実施しています。園や散歩先で一緒に遊んだり、運動会の競技などを一緒に取り組んでいます。 ・園庭は水はけもよく、天気がよければ毎日園庭で遊んでいます。夕方も園庭で遊んでいます。散歩は、週に1、2回程度行っており、年齢や目的に応じて公園を選び、身体を動かして遊んだり自然に触れて楽しんだりしています。 <p><工夫している事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一人一人の子どもに全職員で関わり、子どもの成長を見守る」という園の保育姿勢のもと、平成29年1月より各クラスの保育室の環境を職員で点検し、率直に意見を出し合い、よりよい環境づくりに取り組んでいます。 ・各保育室には、複数手作りおもちゃがあります。プラスチック容器を利用したおもちゃや、布製の手作りスカート、布団、指人形などがあり、子どもは一人で好きな遊びを楽しんだり、友達とごっこ遊びをしたりしています。
Ⅱ－1 保育内容[生活] 	<ul style="list-style-type: none"> ・「食育計画」があり、「お腹のすくりズムの持てる子ども」「食べたいもの、好きなものが増える子ども」など5つの目標を掲げ、保育士は「食べ物にはいのちがある」ことを子どもたちに伝えながら食育に取り組んでいます。 ・4、5歳児は給食当番をし、5歳児の当番は「げんきっず活動」で、食材のカー

	<p>ドを使用してその日の献立の栄養素を紹介しています。また、じゃがいもなど自分たちで栽培した野菜を使ってクッキングの体験をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献立は横浜市立保育園共通の献立で、旬の食材を中心に取り入れています。調理員はきれいな盛り付けになるようにしたり、食感を大切にしたりするなど食事作りに工夫をしています。 ・散歩で摘んだ花をテーブルに飾ったり、異年齢でテーブルを飾って会食をしたり、おたのしみ会の会食会ではランチョンマットを敷いてBGMを流すなどの雰囲気作りに努めています。 ・調理員は週に3～4回、子どもの食事の様子を見てまわり、子どもや保育士から感想を聞いています。 ・一日保育士体験（保育参加）の際に、保護者に給食を試食してもらい、保護者からは「給食の野菜の大きさを家でも真似したい」などの感想があります。 ・1, 2歳児は10分おき、3～5歳児は15分おきに呼吸を確認し向きを変えるなどして、「SIDSチェック表」に記録しています。 ・5歳児は2月ごろから徐々に午睡をしない日を設けていますが、長時間保育の子どももいるので、「横になって身体を休める」ことを大切にしています。 ・トイレトレーニングは一人一人の発達状況を捉えて、保護者と連携を図りながら個々のペースで進めています。1, 2歳児トイレには、親しみやすい動物の絵を掲示したり、便器の横に足型を貼ったり、手作りの低い椅子を置くなど、自らすすんでトイレに行く気持ちになれるよう工夫をしています。 <p><工夫している事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理員は毎月の職員カリキュラム会議に出席するほか、毎日のミーティングにも出席し、その日の喫食状況を把握して保育士から直接意見や要望を聞いて、調理方法や献立によりスプーンやフォークを用意するなど速やかに反映しています。
<p>II-2 健康管理・衛生管理 ・安全管理 [健康管理] </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・業務マニュアルの中に健康管理に関するマニュアルがあり、事務室と各保育室に常備しています。 ・入園時に既往症や予防接種歴、アレルギーの有無、健康状態などを把握し、健康上特に注意が必要な場合は一覧表にして園児の配慮事項を全職員で共有しています。 ・歯磨きは、1歳児から始め、年齢に応じて保育士が磨いたり、仕上げ磨きをしています。おやつ後も歯磨きをしています。 ・嘱託医による健康診断は年2回、歯科健診は年2回行い、記録しています。 ・「感染症マニュアル」には、感染症予防、感染症発生時の対応方法、園で発症した場合の対応方法、登園禁止基準などについて明記し、事務室内と保育室に常備しています。保護者に配付する「保育園のしおり（重要事項説明書）」にも登園許可証明書が必要な感染症などを明記しています。 ・感染症が発生した場合には、速やかに玄関や保育室の掲示板にクラス名、症状、感染経路、潜伏期間、家庭で気をつけることなどを明記し、感染拡大を防ぐよう呼びかけています。 ・感染症に関する最新情報は行政から得るほか、嘱託医から近隣の感染症情報や感染症対応について助言を得ています。 <p><工夫している事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児は、毎日の体温や健康状態、平熱を「げんきカード」に記入してもらい、家庭と園の健康状態の把握に活用しています。
<p>II-2 健康管理・衛生管理 ・安全管理 [衛生管理] </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『業務マニュアル』の中に「衛生管理マニュアル」「手洗いマニュアル」があり、事務室内の書庫に置くほか、保育室にも業務マニュアルを常備していつでも確認することができます。 ・業務マニュアルは、年度末にマニュアルごとにプロジェクトを組んで各マニュアルの見直しを行い、職員会議で検討しています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルは採用時に研修を行うほか、年度末のマニュアルの見直しの際に、職員会議で意見を集約しています。 ・清掃マニュアル（「清掃手順」）に基づき、担当を決め毎日清掃を行っています。「トイレ清掃マニュアル」があり、清掃後は清掃記録に記録しています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理] </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「安全管理マニュアル」「防犯・不審者対応マニュアル」「事故（ケガ）対応」「防犯マニュアル」「防災マニュアル」「非常事態発生時の対応」があり、『業務マニュアル』としてファイルしています。 ・各保育室の収納棚に家具転倒防止安定板を敷いたり、棚の上には物を置かないようにする、収納棚には突っ張り棒を施すなど安全対策をしています。 ・「避難訓練年間計画」を基に、想定場所や想定時間を変えて、毎月避難訓練・通報訓練を実施しています。年２回は消防署員による指導を受けています。 ・非常勤職員も含めほとんどの職員が救急救命講座を受講しています。AED（自動体外式除細動器）を備えて、使用方法を学んでいます。 ・小さなケガであってもミーティングで情報共有し、保護者に伝えるよう努めています。担任から直接伝えられない場合は、クラスごとにある引継ぎノートに記録して遅番保育士や福祉員から直接伝えるしくみとなっています。 ・通院が必要なケガは「事故記録」に事故の発生状況、ケガの状況、応急処置・対応方法を記録し、ミーティングで報告して再発防止策を検討しています。 ・門は電子錠で施錠し、カメラ付きのインターフォンでクラスと名前、顔を確認してから開錠しています。午睡時には全保育室の入口と窓を施錠しています。 ・警備保障会社と契約し、廊下に警備保障会社への緊急通報装置があります。各保育室には異常があると音の出る回転灯が設置してあります。 ・近隣の不審者情報は、神奈川県警察本部から配信されます。当園は警察立ち寄り所となっており、２週間に１度程度、警察官による見回りがあります。 ・不審者侵入訓練は、園内、散歩先を想定して年３回実施しています。 <p><工夫している事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者にもNTT東日本クイックマニュアルをカードサイズにして配付し、災害伝言ダイヤルの体験や、降園時に引き取り訓練を実施しています。
<p>Ⅱ－３ 人権の尊重 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員で考えた「人権標語」を標榜し、「同じ目線で接していますか。大人と子ども、嫌な言葉は一緒です。必ずつけよう！くん、ちゃん、さん。無意識な態度こそ落とし穴」をモットーに子どもの人権を意識するよう努めています。 ・保育士は、「〇〇ちゃん、どうする？」と問いかけたり、子どもが納得して行動するまで見守るなど、子ども一人一人のペースを尊重し、子どもをせかしたりせず、わかりやすい言葉で話すよう努めています。 ・各保育室には、押し入れ下の遊びコーナー、ままごとコーナー、絵本コーナーなど一人で落ち着いて過ごせるコーナーを複数設定しています。 ・必要に応じて、育児支援室（うさぎルーム）を利用して気持ちを落ち着かせたりゆっくりと過ごしたりしています。保育室内にもゆっくりと話せる場所を確保しています。 ・守秘義務の意義や目的は、常勤職員は採用時やコンプライアンス研修で周知を図り、非常勤職員は採用時や必要に応じて研修を行っています。ボランティアや実習生にはオリエンテーションで説明し、誓約書を提出してもらっています。 ・「個人情報ガイドライン」「個人情報マニュアル」があり、非常勤を含めた全職員に毎年研修を行い周知しています。 ・保護者に個人情報に関する書類を渡す際は、担当者がダブルチェックをして手渡しをしています。 ・個人情報に関わる書類はすべて事務室内の施錠できる書庫に保管しています。 ・園で使用する持ち物や帽子は男女共通で、遊びや行事の役割でも性別による区別はしていません。 <p><工夫している事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下に「なかよしひろば」というフリースペースや絵本コーナーを設置し、い




	つでも誰でもゆったりと過ごせるようにしています。
Ⅱ－４ 保護者との交流・連携 	<ul style="list-style-type: none"> 各保育室の掲示板や廊下には、保育理念、保育方針、園目標、その月のクラスのねらい・保育内容を掲示し、入園説明会、クラス懇談会で園長や担任から保護者に保育理念、保育方針、園目標について説明しています。 行事後や年度末に保護者アンケートを実施し、保育方針が理解され、共感を得ているかを把握しています。 1、2歳児は個人連絡ノートがあり、毎日個々の子どもの様子を伝えています。全クラスにクラスノートがあり、その日の保育の様子を伝えており、子どもの姿や発言を記載するよう努めています。 その日の子どもの様子は、個人連絡ノートや口頭で送迎時に伝えるよう努めています。担任より直接伝えられない場合は、全クラスにある引継ぎノートを基に非常勤職員から伝えるようにしています。 個別面談は一日保育士体験と同時に年1回実施しています。個別面談は2～3週間ほどの余裕を持たせた期間を設けています。 クラス懇談会は、年2回平日の午後2時30分から4時ごろまで行い、出席率が半分ほどのクラスもあります。懇談会では、レジュメを基に、保育理念・園目標・保育方針、クラス目標、現在の子どもの様子などを伝えています。 保護者との面談は育児支援室で行い、「面談中」の札を下げ、落ち着いて話せるようにしています。保護者からの相談は、保護者の同意を得て、担任と園長または主任など複数の職員で対応する体制になっています。 保育参加は「保育士一日体験」として、子どもの様子を見たり給食の試食をしてもらっています。また、毎月第3週のリズムの日を保護者参観日とし、保護者にも参加してもらっています。 保護者会があり、保護者会主催で親子遠足をしたり、お楽しみ会で絵本のプレゼントをしたりしています。園は日常の子どもの様子を撮影し、保護者会に提供するなどの協力をしています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> 第三者評価の利用者家族アンケートでは、「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか」について、20%の保護者が「どちらかといえば不満・不満」と答えています。懇談会について平日のお迎え前の時間のため参加できないという声もあります。懇談会に参加しやすいような工夫が期待されます。

評価領域Ⅲ 地域支援機能


評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> 園庭開放、ランチ交流、育児講座などの地域住民との交流の中で、地域支援ニーズを把握しています。 登録してもらった上で1日3、4名の一時保育をしています。月1回5組まで、リズム運動やどろんこ遊びで交流保育をしています。毎週水曜日と木曜日の午前中に園庭開放をして、夏には2回ほどプール開放をしています。地域ボランティアの力を借りて月1回土曜日に園庭開放をしています。絵本の貸し出しをして、月に数組が利用しています。 育児講座を年3、4回開催しています。環境教室や運動遊び、音楽会などを開催しています。地域の子育てサークル「すくすくかめっこ」に出張して、絵本や読み聞かせ、体操などの育児講座をしています。
Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能 	<ul style="list-style-type: none"> 門扉のところに地域向けの掲示板を設置し、育児相談、交流保育、ランチ交流のお知らせを掲示しています。 毎週火曜日を育児相談日としていますが、そのほか随時電話相談を受けたり、園庭開放や交流保育で来園した地域住民には育児支援室（うさぎルーム）でくつろいでもらって相談を受けたりしています。



	<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりを回覧板で町内に回し、保育園の様子や予定を知らせています。神奈川県川区の広報誌「子育て掲示板」に、園庭開放やプール開放、育児講座などのお知らせを掲載してもらっています。 ・こども家庭支援課、横浜市東部地域療育センター及び横浜市南部地域療育センター、横浜市中央児童相談所とは、日常的に連絡、支援を受けています。
--	--

評価領域Ⅳ 開かれた運営


評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩のときには、子どもや職員は近隣住民に積極的にあいさつをしています。運動会、おたのしみ会（発表会）、音楽会、卒園式に、近隣住民に手紙を渡して招待しています。 ・交通安全が守られるように、「スクールゾーン対策協議会」に参加して地域の団体役員、小学校、幼稚園、保育園、保護者と協力しています。 ・5歳児が小学校を訪問して、探検をしたり小学校の秋祭りに参加させてもらったりしています。中学生の職業体験や高校生の体験も受け入れています。 ・地域住民に園庭開放や育児支援室を開放し、絵本の貸し出しをしています。 ・ほかの保育園の子どもを音楽会に招待し、公園ではほかの保育園の子どもとドッジボールをしています。小学校には校内見学や小学生との交流会をしています。高齢者介護施設を訪問して、伝承遊びや歌を歌うなどの交流をしています。
Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市のホームページや園のパンフレットで、サービス内容、料金、職員体制などの情報を提供しています。「一時保育のしおり」にも、園の基本情報やサービス内容、料金を明記しています。 ・保育施設・事業情報サイト「働くママ応援し隊」に情報を提供しています。 ・利用希望者の問い合わせに対しては、一時保育を含めて、パンフレットに基づいて、園の基本方針や利用条件、サービス内容などについて説明しています。 ・利用希望者には見学できることを案内しています。1日3組まで、園庭開放日に合わせて設定し、見学のあと園で過ごしてもらうようにしていますが、保護者の都合に合わせて土曜日に対応することもあります。
Ⅳ－３ 実習・ボランティアの受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア・実習生の受け入れのためのマニュアルがあり、ボランティアには事前説明用資料で、実習生にはオリエンテーションで園の方針や配慮などを説明しています。個人情報保護のための誓約書を提出してもらっています。 ・おはなし会のボランティアが月1回来園して、幼児に絵本の読み聞かせや素話をしてもらい、感想を聞く際に絵本の読み方などの助言ももらっています。 ・実習生受け入れに当たり、事前に担当職員を決め、実習予定を職員に周知しています。保護者には園だよりで学校名と人数を知らせています。 ・実習生に合わせてプログラム内容を変えています。実習校の実習担当教諭と面談し、実習中の様子により課題を共有し実習指導のやり方を工夫しています。 ・担当クラスの職員とは毎日の振り返りを行い、質問や疑問に答えています。最後に実習反省会を行い、園長、主任、担当保育士が参加して振り返りとアドバイスをしています。



評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅴ－１ 職員の人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人数に応じた職員を配置しています。新入園時の多い4月は、1、2歳児にフリー保育士を配置しています。園長がアルバイト職員が必要な場合は、横浜市の募集サイトやポスターで募集して採用しています。 ・キャリアラダーで職員の目標の目安を示し、人材育成ビジョンで職員に期待される役割、人材育成の方法が策定されています。個々の職員は、キャリアラダ

	<p>一で目標の目安を知り、目標共有シートを作成しています。それを基に園長と面談し、目標や達成時期の見直しをし、期末期には振り返りをしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園の課題を職員間で話し合い、園内研修プロジェクトを立ち上げています。今年度6月までは保育の質について研修しました。以後、第三者評価の自己評価を使って3か月かけて研修しました。 ・研修を受けた職員は研修報告書を提出し、ミーティングで研修内容の報告をし、職員間で共有して保育に活かしています。ミーティングに参加できなかった職員は、資料や研修報告書を見ることができます。 ・福祉員マニュアルがあります。全職員向けの業務マニュアルは各クラスに置いてあり、非常勤職員も見ることができます。 ・非常勤職員対象の研修のほか、遊びの研修、要配慮児研修、救急救命研修など常勤職員と一緒に研修で資質向上を図っています。 ・園長は非常勤職員と年3回以上面談し、さらに福祉員会議、アルバイト会議、手紙などで思いや意見をくみ上げています。
<p>V-2 職員の技術の向上 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は横浜市作成の「保育士の自己評価」表があり、保育園の自己評価も毎年、年度末に行っています。本園の保育方針と園目標、今年度の課題、取り組み状況、保護者アンケートより、次年度の課題・改善点としてまとめ、園内に掲示して公表しています。 ・職員の自己評価の結果から、保育所の自己評価の課題を明らかにしています。今年の課題は、(1) 各クラスの保育内容を保護者に提示して、コミュニケーションを積極的にする (2) 生活環境の整備 (3) 職員の人権意識の向上 となっています ・4か月に1度、ミニ園内研修として他クラスの環境を全員で見直し検討しています。 ・各年齢の年間指導計画、月間指導計画、保育日誌には自己評価欄があります。自己評価は子どもの姿を記すだけでなく、子どもの意欲や取り組む過程を重視し、自分の保育を振り返るようにしていますが、そこまでできていない職員もいます。 ・カリキュラム会議では、職員の自己評価の結果を報告し、意見を出し合っています。第三者評価の自己評価でも、結果を職員間で話し合っています。
<p>V-3 職員のモチベーションの維持 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の階層に応じた役割は横浜市作成の「横浜市人材育成ビジョン」に明文化されています。 ・異年齢保育、リズム、食育、散歩などの活動計画は園長・主任と職員が検討を重ねて策定しますが、実施する場合は子どもの様子に合わせて職員が自主的に判断しています。最終的な責任は園長が負っています。 ・会議やミーティングで職員の意見や提案を聞くほか、無記名の封筒で意見を提出できるようになっています。倉庫や資料の整理・分類の仕方やワゴンのカバーのほか、乳児室の職員のスリッパ置き場を作るなどの提案がありました。 ・園長と職員との面談で、満足度・要望を聞いています。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由 (コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が守るべき法・規範・倫理などについては、「横浜市職員行動基準」「全国保育士倫理綱領」に定められ、職員証と共に、「横浜市職員行動基準」を常に携帯しています。 ・園の運営状況などは、神奈川区のホームページで情報を公開しています。 ・園長は、他の施設で起こった事故や、報道される不適切な事例をすぐにミーティングで報告したり、書面にしてミーティングノートに収めるなどして、職員に注意喚起をしています。 ・各保育室、事務室、休憩室には、「燃やすごみ用」「紙ごみ用」「プラスチック

	<p>用」の共通の色、形のごみ箱を設置し、子どもたちがわかりやすく分別して捨てられるよう工夫しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育課程の中に環境教育に取り組むことを明示し、子どもと一緒にゴーヤやひょうたんを育てるなど緑化に努め、5歳児がエコ当番（クリーン隊）で各クラスのごみを分別収集しています。資源循環局による「環境教室」を実施し、食品ロスの話やごみの分別について子どもに話してもらっています。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念、運営方針、保育方針、保育目標、保育姿勢を明文化したカードを全職員が携帯し、各保育室と廊下に保育理念、保育方針、保育目標、「神大寺保育園の保育」を掲示しています。 ・29年度は、重要事項説明書（保育園のしおり）の「神大寺保育園の保育」をよりわかりやすい表現に変え、理念、基本方針について、理解を深めています。 ・園長は、幼児会議や乳児会議、カリキュラム会議などでの職員の発言などから理念や基本方針を理解して職務に当たっているかを確認しています。 ・重要な意思決定においては、園長は保護者と意見交換を行い、保護者会総会で目的や理由を十分に説明し了承を得ています。 ・職員と調理員が連携を図り、生ごみ処理機を使用し肥料として再利用するなどエコ活動に取り組んでいます。 ・「横浜市人材育成ビジョン」に基づいて、主任クラスの人材を計画的に育成するしくみがあります。 ・主任は、職員の経験に合わせて役割分担を行い、個々の職員の状態や子どもの様子に応じて適宜保育に入るなど、必要に応じ的確に助言指導をしています。 ・主任は、個々の職員の健康状態により勤務を配慮し、保育の上での悩みごとに相談にのるなど気を配っています。クラス懇談会に参加し必要に応じて保護者に助言をするなど、園長と共に、園運営が円滑にできるよう取り組んでいます。
<p>VI-3 効率的な運営 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は、市立保育所全体責任職会（横浜市こども青少年局）、神奈川区保育所責任職会（神奈川区こども家庭支援課）、神奈川区内認可保育所・横浜保育室合同園長会（神奈川区こども家庭支援課）に参加し、支援を必要とする子どもの入所など事業運営に影響のある情報を収集・分析しています。 ・園長が入手した重要な情報は、必要に応じてミーティングや職員会議などで報告し、重要な改善課題については園全体の問題として設定しています。 ・重要な改善課題について、園長と主任とで原因や状況を確認し、緊急職員会議で改善点について話し合っています。 <p>平成30年度の保育所保育指針改正に向けて、園長、主任をはじめ、全職員がいろいろな講師の研修に参加し、改正のポイントについて報告しあい、学び合っています。</p>

利用者家族アンケート

事業所名:横浜市神大寺保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

結果の特徴

◇ 調査対象

調査時点での在園児数67名、全保護者56家族を対象とし、回答は49家族からあり、回収率は88%でした。

◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収しました。

◇ 総合満足度

肯定的な回答は88%(満足51%、どちらかといえば満足37%)であり、否定的な回答は12%(どちらかといえば不満10%、不満2%)でした。

◇ 比較的満足度の高い項目

1)100%: 戸外遊びを十分している

2)95%~99%: 入園時(面接等の対応、一日の過ごし方の説明)、遊び(自然・地域に関わる園外活動)、生活(給食を楽しむ、基本的な生活習慣への取り組み)、保護者との連携(園の様子や行事に関する情報提供)

3)90~94%: 入園時(園目標・方針の説明)、遊び(クラスの活動や遊び、おもちゃや教材、健康づくり、給食の内容、状況に応じた昼寝・休憩の対応、体調への気配り、けがに関する説明)、快適さや安全対策(遊具設備、落ち着いて過ごせる雰囲気、不審者侵入対策、感染症の発生情報等の情報提供)、保護者との連携(重要な情報連絡体制)、職員の対応(お子さんが大切にされているか、保育園生活を楽しんでいるか)

◇ 比較的満足度の低い項目

1)20%: 年間の保育や行事に保護者の要望が活かされているか、園の行事の開催日や時間帯への配慮

調査結果

■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	%	16%	72%	4%	4%	2%



問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	%	63	37	0	0	0

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

	%	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
		見学の受け入れについては	64	22	0	2	12
		その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	68	16	8	2	6	0	
		その他:					
園の目標や方針についての説明には	57	33	6	4	0	0	
		その他:					
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	59	37	2	2	0	0	
		その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	53	43	2	2	0	0	
		その他:					
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	64	24	10	2	0	0	
		その他:					

問3 保育園に関する年間の計画について

	%	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
		年間の保育や行事についての説明には	37	47	12	2	2
		その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	24	48	14	6	8	0	
		その他:					

問4 日常の保育内容について

遊びについて

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	51	43	4	2	0	0
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	63	37	0	0	0	0
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	59	35	2	2	2	0
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	53	43	2	0	2	0
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	55	33	4	6	2	0
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	57	37	2	4	0	0
	その他:					

生活について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	47	43	6	2	2	0
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	55	43	2	0	0	0
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	61	35	2	2	0	0
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	61	27	2	6	2	2
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	60	16	2	2	18	2
	その他:					
お子さんの体調への気配りについては	68	24	4	2	2	0
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	68	22	6	2	2	0
	その他:					

問5 保育園の快適さや安全対策について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	%	47	47	4	0	2	0
	その他:						
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	%	51	41	4	2	2	0
	その他:						
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	%	51	41	4	4	0	0
	その他:						
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	%	43	47	10	0	0	0
	その他:						

問6 園と保護者との連携・交流について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	%	43	45	6	6	0	0
	その他:						
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	%	51	45	2	2	0	0
	その他:						
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	%	39	37	10	10	4	0
	その他:						
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	%	39	47	6	8	0	0
	その他:						
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	%	45	45	4	4	2	0
	その他:						
保護者からの相談事への対応には	%	43	43	8	4	0	2
	その他:						
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	%	39	49	6	4	2	0
	その他:						

問7 職員の対応について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	%	61	29	8	2	0	0
	その他:						
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	%	63	29	4	0	4	0
	その他:						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	%	41	39	4	2	10	4
	その他:						
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	%	51	35	6	6	2	0
	その他:						
意見や要望への対応については	%	37	47	10	4	2	0
	その他:						

問8 保育園の総合的評価

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	%	51	37	10	2	0

観察方式による利用者本人調査

平成 29 年 10 月 17 日

事業所名：神大寺保育園

【1、2 歳児】

<室内遊び>

一人一人四角い布を頭にかぶって、保育士の合図でパッと離します。ひらひらと落ちてくるのが面白くて、子どもたちはキャッキョッと笑います。今度は大きな布の端を保育士と何人かの子どもが持って、その下に他の子どもがもぐりこみます。「大波がいい？」と保育士が子どもたちに聞きます。「うん」と答えると、保育士が「上から下から大風来い、来い来い来い」と言って布を揺らすと、下にもぐっている子どもたちが大喜びします。「台風がいい？」と聞いて、もっと激しく揺らします。びっくりした子どもは、保育士に抱きつきます。入れない子どもに保育士が声をかけてもぐらせました。「入れたね」と声をかけます。

保育士が「リズムがいい？」と子どもたちに聞きます。「テープ準備してくれる？」とほかの保育士に頼み、音楽が流れ始めました。「みんなで息を吸って」という保育士に倣って深呼吸をしてリズム体操をします。

次に、手遊びです。「ここはなあに？」と、子どもたちに体の部位を歌いながら聞いていきます。「ひざ、ひじ、あご、かかと」までは分かりましたが、耳たぶは分かりません。「新しい言葉覚えたね」

<排泄>

食事の前に「順番にトイレに行こうね」と保育士に促されて、少しずつトイレの前に移動します。トイレの中に 1 人の保育士がいて、1 人でズボンが脱げない子どもには手助けします。ズボンやパンツ、オムツは手作り腰掛の前に、履きやすいように並べてあります。

食事のあともトイレに行って、そのあと着替えます。「お昼寝の前は、お兄さんパンツじゃなくてオムツにしようか」と保育士に言われて、オムツをはく子どもいます。なかなか脱げなくて悪戦苦闘している子どもには、保育士がそつと手助けをします。

<食事>

トイレを済ませた子どもは、手を洗います。手洗い場に保育士がいて、袖をまくるなど手助けしています。そのあと、マークのついた席につきます。アレルギーのある子どもはトレイに載せたものを先に配膳されます。今日は除去食がないので、ほかの子どもとテーブルも同じで、保育士も常にそばについてい

るわけではありません。要配慮児のそばには一人保育士がついています。

全員の配膳が終わるまで、1人の保育士がポケットからネコのぬいぐるみを3匹出して、歌やお話で子どもたちの注意を引き付けます。配られたフォークで食器をたたく子どもがいると「フォークが痛いと言っているからやめようね」と保育士が注意します。全員の配膳が終わると「今日はサンマーメンです。皆さんと一緒にいただきます」と手を合わせます。

1歳児7人には2人の保育士がついて、フォークを使って食べるのを見守りながら、時々援助しています。2歳児は、おしゃべりに花が咲いてなかなか進まない子どももいます。皿に少し残っていると、保育士が「もう一口食べようか。集まれしようね」と言って、子どもの口に入れます。嫌いなものがあってなかなか進まない子どもには、「エビのほかの物は全部食べようか。エビは残していよいよ」と保育士が声をかけます。ご飯を食べた子どもには、デザートの梨が配られます。

全部食べ終わると、2歳児は歯ブラシが配られて自分で歯磨きをします。終わると保育士を呼んで、仕上げ磨きをしてもらい、最後にお茶を飲みます。

<午睡>

食事、トイレ、着替えが終わった子どもから、敷いてある布団に寝ころびます。棚のおもちゃで遊んでいる子どももいます。お人形を抱いて寝ている子どももいて、ほかの子どもに持ってきてあげる子どももいます。「1人一つだけよ」と保育士が声をかけます。なかなか眠れない子どもには、保育士がトントンしながら子守唄を歌っています。ほとんどの子どもが寝入ったころ、保育士が見回って仰向けにしたり布団をかけたりします。

<自由遊び>

手作りスカートをはいて、バッグにおもちゃを入れてお出かけする子どもがいます。ブロックに夢中になっている子ども、人形を手作り布団や枕に寝かせている子どもなど、低い棚から好きなおもちゃを取り出して遊んでいます。容器のふたに○、△、□の穴を開けたものと手作りの円筒形の物がいくつもあり、調査員が「なにかな？」とつぶやくと、穴にポトンと落としてみせてくれました。

【3歳児】

<自由遊び>

職員に絵本を読んでもらい、じっと聞き入っている子ども、ままごとコーナーで遊ぶ子ども、ブロック遊びをする子どもなど思い思いに遊んでいます。

ままごとコーナーでは、保育士手作りのスカートをはいて、スカートにスカートを結びつけながら「ひも、むすべるのよ」と見せ合っています。コンロで

ごちそう作りです。フライパンに白い小さなおもちゃをごはんに見立てて熱心に炒め、最後にペットボトルの醤油で味付けをします。カレーライスも作り、「見て！カレーできた」と誇らしげに見せ、保育士が「おいしそう。食べていい？」とスプーンで食べると、子どもたちはうれしそうな顔をしています。

長い電車をつなげて絵本コーナーまで来た子どもには、保育士は「絵本のところは、電車はストップだね」と優しく話します。ブロックで一緒に何かを作っている子どもたちに保育士が、「何作っているの？」と聞くと、「おうち」と答えます。保育士に「かわいいおうちだね」と言われ、ますます張り切ります。

「長いのがない」と一人がつぶやくと、別の子どもが「誰か長いの貸してくれない？」と言ったり、勝手にブロックを使おうとする子どもには「今、使ってるよ」と言うなど、保育士に手助けがなくてもお互い譲り合って遊んでいます。

<給食>

自分で主食を用意して、みんな席に着きました。保育士が配膳して「このお魚は鮭です。前も出たから覚えているかな。鮭は何色ですか？」と聞くと、「オレンジ」と子どもが答えます。「赤とかオレンジだね。夕方のお日さまは何色かな？茜色と言うんだよ。だから、これは鮭の茜焼きです」と保育士が説明します。フォークを使う子どももいれば、箸を使う子どももいます。「食べるときは、しゃべっちゃいけないんだよ」と一人の子どもが言うと、保育士が「しゃべってもいいけど、大きな声は出さないようにね」と答えます。

急に一人の子どもが泣き出しました。「〇〇ちゃんが足踏んだ」「踏んでない」と、今度は向かいの子どもが泣き出します。保育士が「2人とも足が床に付いてないからだよ」と言って仲裁します。

「もう食べれない」という子どもには、保育士が「もう一口だけ食べて終わりにしよう」と言います。食べ終わった子どもは食器を下げ、歯磨きをして仕上げ磨きをしてもらった後、うがいをします。その後の着替えでは、保育士が「きちんとたたもうね。ここを引っ張って袖を出すんだよ」と手助けをします。

<排泄>

食事が終わった子どもが「トイレに行ってきます」と保育士に声をかけてトイレに行きます。「ウンチが出る」と言ってトイレに行った子どもには、しばらくして保育士がトイレをのぞいて「大丈夫？」と声をかけます。

午睡中にトイレに行く子どもがいました。保育士がついていき、「ちょっと柔らかいけど、おなか大丈夫？」と聞きながら、おしりふきを手伝っています。

<午睡>

午睡の前に、保育士に絵本を読んでもらいます。子どもたちはじっとお話を聞いています。絵本が終わると名前を呼ばれた子どもから布団に入ります。保育士に「トイレに行ってから布団に入ってください」と言われる子どももいま

す。子どもたちは保育士に名前を呼ばれるまでお行儀よく座って待ちます。

【4歳児】

＜板積み木で遊ぶ＞

長さ15cm、幅3cm、厚み1cmの木製の板積み木で遊びます。積み重ねたり立てたりして作っている子ども、友だち同士で協力して作っている子ども、説明書を見ながら作っている子どももいます。本を見ながら作った子どもが保育士に「先生、見て～！」と見せると、「すごいおうちだね」とほめます。他の子どもにも「〇〇ちゃんのもきれいだね」と声をかけています。うまく立たなくて迷っている子どもに、保育士が「重ねた方がいいかなあ。」と少し助言すると、「その方が倒れないね」「ドアも作ろう」と子ども同士で張り切って続けます。

次は保育士が「10個だけ取ってください」と言うと、子どもたちは一生懸命数えて10個ずつ取ります。保育士が「10個全部使ってもいいし、全部を使わなくてもいいです」子どもたちは真剣に保育士の説明を聞いています。「四角を作ってください」と保育士が言うと、4つで作る子どもや積み木を全部使う子どもとさまざまで、「できた～」とうれしそうです。やりたくない子どもには、保育士は「〇〇ちゃん、どうするの？」と声をかけ、その子どもが椅子に座ると見守っています。「三角を作ってください」と保育士が言うと、小さい三角や、大きい三角、2つ作った子どももいます。多くの子どもが床に並べていますが、中には板積み木を立てて三角に作る子どももいます。保育士は「2個作ったの」「大きな三角だね」「立てて作ってすごいね」と子ども一人一人をほめています。

＜排泄・手洗い＞

給食の前にトイレに行きます。トイレ入り口には待つときの足型のシールが貼ってあり、子どもたちは上手に並んで待っています。男の子はズボンを降ろさずに立って排泄をしています。

＜給食＞

子どもたちは、今日の献立を知っており、「ぼくの好きなサンマーメン」とうれしそうです。子どもたちは箸で上手に食べます。先にラーメンを食べる子ども、おかずと順番に食べる子どももいます。「ラーメン、おいしいね」と子ども同士で話しながら食べています。保育士は「肘つかないよ」「おなかとテーブルがつくように座ろう」「お口の中終わってからお話ししようね」とわかりやすく話しています。

給食が終わると、鏡を見ながら歯磨きをしています。わかりやすい歯磨きの仕方の絵が掲示されています。

【5歳児】

<お絵かき>

もうすぐ遠足なので、お弁当の絵を描きました。保育士が「とってもおいしそうで、みんなに見せてあげたいけどどうかな？」と話します。はずかしそうな子どもには「それもお兄さんになったしるしだね」と優しく言います。まず保育士が自分の描いた絵の説明をしてから、子どもが一人ずつ発表します。「好きなお弁当は卵焼き」「お弁当箱は、ねこ」と元気に話す子どもや、はずかしそうに保育士に助けられながら話す子どもいます。保育士に「おいしそうね」とほめられ、どの子どもも誇らしげです。保育士にほめられて、一日保育士体験の母親に抱きつく姿もあります。

<ゲーム>

2チームに分かれて、カードめくりゲームです。相手チームのカードを裏返して、カードを多く取ったチームが勝ちというルールです。保育士が笛を吹くと、5人ずつすごい速さで相手チームのカードを裏返します。何回かやってもレモングループの勝ち。今度こそと思うと引き分けです。負けたキウィグループは、保育士に励まされて「エイエイオ～」と張り切ります。笛が鳴ると、それまでも増して頑張り、応援する子どもの声も大きくなります。終わりの笛が鳴ってからカードを裏返したことに気づいた子どもが「ずるいよ」と指摘をします。保育士は「そうだね」と元に戻します。今度はキーウィグループの勝ちになり、「わあ～、やっと勝てた」と大喜びです。

<排泄、手洗い>

保育士の声かけで子どもたちはトイレに行きます。トイレが終わると自分でスリッパをきちんと揃える子どももいます。保育士は「次の人がはけるようにきれいに置きましょう」と声をかけています。手洗いの後、水道の栓をきちんと閉めない子どもには「お水出ってますよ」と言っています。ある子どもが「廊下は走らないよね」と言い、保育士は「その通りです」と答えます。

<給食>

手を洗うと、グループごとに味噌汁を自分で取りに行きます。少し前から強化磁器の食器に変わり、両手で慎重にそ～と運んでいます。保育士は「味噌汁は熱いのでどこを持ったらいいかな？」と助言をしています。こぼした子どもは自分で拭いています。保育士は「お椀の並べ方は合っていますか？お椀は右側ですね」と確認します。保育士は今日のおかずの説明をします。「鮭の茜焼きの茜って、赤い夕暮れのこと、ケチャップと醤油で茜色を作りました」子どもたちは鮭を箸で上手に食べています。「魚の皮っておいしいね」などと会話を楽しみながら食べています。保育士はお箸の持ち方を個別に指導しています。一日保育士体験の保護者には、就学に向けて20分程度で食べることや、その子どもの頑張っていることを話しています。

平成 29 年度 第三者評価事業者コメント

神大寺保育園

第三者評価を通じての客観的な保育の見直しの必要性を感じ、受審を希望しました。受審にあたり、全てのマニュアルの整備・確認と評価項目をもとに全職員で神大寺保育園の保育を見直すための話し合いを重ねました。保育園全体の課題を一つひとつ明らかにし、改善に向けて話し合うことで全職員が課題意識を持ち、保育の中で大切にしたいことや求められていることは何かを共通認識することが出来ました。

今回の評価の中で【特に優れていると思われる点】として、「室内環境づくり」「子どもや大人との様々な幅広い交流」（育児支援、地域との交流、異年齢保育、障がい児保育）「職員の意欲を引き出すプロジェクトや提案制度」について評価をしていただき、職員の励みや自信につながりました。新たに気づいた課題に取り組み、保護者の皆様と共により一層子どもたちの笑顔につながるようにしていきたいと思えます。